

# ナイスカップル

わたしが  
選んだ人  
選ばれた人

さわやか“ムコ”さん  
松永さん夫妻(東保内)



今回は松永芳彦・裕美さん夫妻(東保内・世帯主全さん)です。結婚三年。二歳の綾子ちゃんとお母さんの五人家族です。芳彦さんは南浦の栄町出身。出会いには？

「奥さんはどんな人？  
強情です。この強情が良いところでもあり、悪いところでもあるんです。また、良く気がつくと思う反面、ぬけているんですよ。」  
「お互いに望むことは？  
「最低一週間に一回休みを取って欲しいです。また、帰りが遅いので子供と接する時間も多くして欲しいです。そして、タバコとお酒はできるだけ控え、健康管理に気をつけて欲しいですね。」と奥さん。

「今のままで十分です。」と旦那さん。  
「お互いに点数をつけたら？  
奥さんは旦那さんを80点、旦那さんは奥さんを70点(満足している割に点数が辛い)。  
何か一言をどうぞ  
「小さい村にしては、施設等が整っており満足しています。また、伝統を大切にしている地域だと感心しています。」と旦那さん。  
「近くに子供を安心して遊ばせることのできる公園が欲しいですね。」と奥さん。

「かを作ること。最近もバイクの部品を買って来てピカピカに磨いたりして走れるようになったこと。」  
「一問一答に笑いが生じ、隣の部屋の御両親もつい笑ってしまっ程でした。また、綾子ちゃんのお歌のサービスマもあり和気あいあいのインタビューでした。」  
「今のままで満足。」という芳彦さんの言葉に、思わずボツと赤らんだ裕美さん。まだまだ新婚の“アツアツカップル”でした。

## 温故知新

### 力井戸(温古の榎より)

『三島郡黒坂村地内ニ源義経ノ勇臣武蔵坊弁慶ノ堀シト言ヘル井壺アリ。里人カヲ乞フ者ハ精進潔シテ此井壺へ祈願スルニ必ず効驗アリト。故ニ力井戸ト名ク。若シ井壺ニ不浄ノモノヲ触ル時ハ奇怪ノ事アリト言フ。』  
先年黒坂村に住居したという信長に敗れた朝倉の家臣の後裔の事を誌したが、その事について地元の部落には全く伝承もなく不明である。今回、弁慶の力井戸の事も知る人もない、部落の北側の神社の所から峠を越えて町軽井方面に出る山道は俗に黒坂と称している。坂の名前が部落の名前の由来になったのか、部落の名前が坂の名前の由来になったのか不明であるが、その坂の名について伝説がある。

それは、源義経が奥洲落ちをした時この坂を通ったので九郎坂と呼ばれるようになったと言われている。義経伝説は方々に残っている。寺泊菊屋の庭にも弁慶井戸と言われるものがあるし、その外にも沢山ある。また、南魚六日町の文化財となっている「君唄り観音」は部落に残る伝承には、義経が奥洲落ちの時この村まで背負って来たが、出発に際して重くなって残して旅立ったと言う伝説である。  
その他各所に同じ様な伝説があるが、思うに、これは義経が肉身の兄に追われる薄幸の身上に同情し、自分達の郷土の様様のものに結びつけた故に多くの伝承が残ったのであろう。  
黒坂の力井戸も九郎坂と結びついて弁慶の力井戸と伝えられるのではないだろうか。  
久住熊三郎氏より



黒坂峠の遠景

一人口の動き

9月末現在
出生 2人 死亡 4人
転入 4人 転出 1人
世帯数 1,281世帯(±0)
男 2,823人(±1)
女 2,891人(±0)
合計 5,714人(±1)

# わしま



## 村民親善大運動会

十月廿四日(日)秋晴れの期待に反し、異常な寒さの中、村民親善大運動会が開催されました。しかし、いざ競技になると寒さは一掃されたのか熱気でムンムン。日頃運動不足気味のとうちゃん、かあちゃんも運動不足解消とばかり大ハツスル。

また、自軍に勝利を導こうと歯をくいしばって頑張るおじいちゃん、おばあちゃん。これらの光景を心配そうに見守る若夫婦。様々な珍場面やアツシメントを作りながら、楽しいうちに大ラマは終了いたしました。

- 主な内容
- 2頁～3頁…村民親善大運動会、村長室の黒板、建設工事発注状況、篤志に感謝
- 4頁～5頁…B&G体験航海記
- 6頁～7頁…ワシマスポット、読者リレー、時の人
- 8頁…ナイスカップル、温故知新

# 村民親善大運動会

# スナック!



一着よ〜!



応援にも熱が入る



仲良くゴールイン!

北辰中ブラスバンド演奏のもと、堂々の行進



## 建設工事発注状況

工事名	施行場所
島田小学校プール新設工事	中 沢
八幡橋、中沢橋塗装塗替工事	落 水、中沢
高稲葉線特殊改良四種工事	小 島 谷
長者ヶ原二号線特殊改良四種工事	保 内
北辰中学校々庭舗装工事	島 崎
防火水槽新設工事	上 桐
" "	島 崎
林道補修工事	荒巻、阿弥陀瀬
北辰中学校物置小屋建設工事	島 崎
福祉センター屋上防水補修工事	小 島 谷
道路維持修繕工事	村内一円
冒険の丘施設工事	小 島 谷

(昭和59年5月~9月)

事業費	請負業者名
44,322千円	(株)植木組
1,841	(株)諸橋塗装
14,600	(株)中元組
2,566	丸運建設(株)
3,569	(株)水倉組
4,100	(株)関川建設
4,500	(株)水倉組
1,298	(有)高橋土木
1,200	(有)羽入商会
2,800	(株)旭企業
6,660	(株)水倉組
4,700	(株)サトミ産業

## 村長室の黒板から

九月十八日 九月定例議会招集。五十八年度決算案、補正予算等提案。

十九日 理研コイルセンター社長来村。新工場建設の方針を提示、協力を依頼される。

二十一日 農林総合整備モデル事業推進本部総会出席。夜村内若人のグループ「わしまあすなろ会」に出席。

二十五日 議会本会議、一般質問受く。

二十六日 決算等認定議決後定例議会閉会。

二十七日 共同募金委員会。

二十八日 金沢の農政局へモ

和島村長 古澤 登

十月二日 上京建設省に陳情。祭。

三十日 北辰中、島田小体育祭。

十月二日 上京建設省に陳情。運動会及び郡町村会開催。

八日 郡監査委員会が福祉センターで開催。挨拶後出県、保育所の件で青少年福祉課へ。

十一月十二日 新農構町村長研修で福井県へ。

十四日 村民親善大運動会。

大変寒い日ながら予定通り挙行。

十六日 郡内中学新人バレーボール大会で挨拶。出雲崎町の郡議会議員研修会に出席。

## 篤志に感謝

故加勢富治さんの御家族の方より、村の社会福祉向上に役立てていただきたくと3万円の御寄附をいただきました。紙面を通じここに厚く御礼申し上げます。

## 結 果

- 〈総合〉
- 一位 第十一チーム (下町上・下町下)
  - 二位 第四チーム (高畑・日野浦・中沢)
  - 三位 第九チーム (新田・川端・道城下)
- ブービー賞
- 第三チーム (駅前)
  - 第五チーム (梅田・東保内・村田)
- ※ブービー賞は同点のため二チームになりました。
- 〈部落対抗リレー〉
- 一位 川 端
  - 二位 上 桐
  - 三位 下富岡
- 〈一、五〇〇m持久走〉
- 三十五歳未満の部
  - 一位 笠原真一 (下町上)
  - 二位 久住威寛 (駅前)
  - 三位 関川 学 (下富岡)
- 一位 平沢勝司
  - 二位 本間 登 (駅前)
  - 三位 久住憲保 (中小島谷)

# B&G 少年児童の船“体験航海記”



去る七月下旬から八月月上旬にかけて、「規律正しい団体生活を  
通し相互の友好・連体・協調心を養ない、海事に関する理解と  
関心を深め、併せて訪問地の歴史・産業・経済等に触れ、国際  
的視野を広め、国際親善に寄与する。」ことを目的にB&G財団  
(笹川良一会長)主催の少年の船・児童の船が実施されました。  
ワシマ海洋クラブ(会長田村一彦公民館長)では、昨年に続  
き二回目の参加です。



## 少年の船に 参加して (グアム・サイパン)

北辰中学校1年  
矢部 晴子  
(下富岡)



## 沖縄へ行った 思い出

島田小学校6年  
久住 恵子  
(下小島谷)



## 児童の船に 参加して

島田小学校6年  
小林 雅枝  
(中小島谷)

七月二十九日  
不安と喜びをかかえて、日本学生会館へ向かった。班員全員と仲良くなり、楽しくおしゃべりしながらねむった。  
七月三十日  
初めて乗った飛行機で見た景色は、とてもすばらしかった。観光地の店では、独特の貝のアクセサリーや、ヤシの実ジュースなどを売っていた。  
七月三十一日  
海洋性スポーツで、カヌーとOPヨットは経験があり、上手だとほめられた。カッターは、なかなか難しかった。  
八月一日  
すみきったグアムの海で思いきり泳いだ気分は最高だった。夜は交歓会が行われ、すばらしいダンスを見せてもらった。  
八月二日  
ショッピングでは、すばらしい品物ばかりで選ぶのに苦労した。この三日でおどろくほど日焼けした。  
八月三日  
ショッピングでチョコを買ったが、とてもおいしい。ボートに乗ってみた海は、すみきっていてとてもきれいだった。  
八月四日

私が児童の船で沖縄に行った時に一番思い出になったことは、沖縄でのいろいろな行事のほかに、いろいろな人と友だちになったことでした。  
初めのころは、みんななれないのであまり話さなかったけれど、ほんの少しづつと気軽に方言などを出しながら話すようになりまし。私も同じ班の人と色々な話をしました。私と同じB&Gの恵子さんも初めは私といっしょにいましたが、そのうちいろいろな子と話すようになりました。  
二番の思い出は、沖縄でやった八月一日、私たち百二十人を乗せた児童の船「サンシャイン沖繩」がありあけふとうをしゅうこうした。  
船の中の二日間で友だちがたくさんできました。それに、手旗信号やロープワークを指導員の人から習いました。  
八月三日やつと沖縄の海洋センターにつきました。  
つぎの日は、近くの海でカヌー、カッターなどに乗せてもらいました。  
五日の日は一番楽しみにしていた日が来まし。海に泳ぎに行く日です。海から上って、沖

今日から船内研修。最初は気分がすぐれなかつたが、だんだん慣れていった。カヌー、ヨットの勉強をしておいて助かった。  
八月五日  
難しい勉強もあったが、ダンスをしたり、星座教室をしたり、ディスコ大会をしたりで、とても楽しかった。  
八月六日  
最後の夜、サヨナラパーティーが行われた。みんなでサヨウナラとあく手をした。涙のディスコ大会は盛大だった。  
八月七日  
解団式を行い、仲良しになった団員と別れを惜しみながら帰路についた。  
総括  
一番うれしかったことは、やはり沢山のひとと友達になれたことだと思。一生に一度体験できるかどうかかわからないことを体験させて下さった笹川良一會長をはじめ関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

た「海洋スポーツ」や「海水浴」です。「海洋スポーツ」は、海洋センターの前の海でやりました。その中でも一番楽しかったのはカッターでした。初めはみんなバラバラで進まなかつたけれど、やっているうちに進むようになりまし。  
海水浴では、砂が白くてきれいでした。水もとてもきれいで、場所によって色がちがうのにおどろきました。泳ぐことは、ズックをはいて入ったのでできませんでした。  
みんなは帰りがついていたけれど、私はもつといたかつたです。  
縄海洋公園に行つて帰つてから、センターのプールで班に別れて、水泳大会をやりました。  
私はリレーのアンカーをやりましたが、ビリでした。  
つぎの日は島内見学でパイナップル畑などを見てから空港に行き、飛行機で東京の羽田空港に着きかいました。  
私はこのたいけん旅行に参加して、B&Gに入つてとても良かったと思。これからもB&Gの行事には進んで参加し、沖縄でおぼえたことを生かしてやろうと思。います。



# ☆ スポット ☆

## 〈和島村商工会と交換会〉

### 秋田県商工会連合会来村！

十月二十三日(火)秋田県商工会連合会青年部・婦人部(九十名)が来村され、和島村商工会を視察し、交換会が開催されました。

回収や講演会等を企画し、活発な事業運営が評価され、今回の来訪となったものです。

当日は一時間に渡り、質問や意見交換が熱心に行われました。



# ☆ ワシマ

## 良寛講演会



10月22日(月)、福祉センターに於いて、和島村良寛会主催の「良寛講演会」が開催されました。

当日は、前滋賀大学々長三輪健司先生を講師に招き「良寛さんの悟境」と題して講演されました。



### 環境美化の看板設置

(和島村商工会青年部)

和島村商工会青年部(竹内嘉秀部長)では、「少しでも村内の環境美化の一助になれば」と去る10月20日(土)村内各所に「手づくり」の空き缶等不法投棄防止の看板を設置されました。



### 高齢者学級村内めぐり

10月11日(木) — 公民館 —

## 時の人

### — 新嘗祭に献穀 —

川瀬 虎之助さん (東保内)



去る九月十三日(木)に本年度の新嘗祭に献穀する稲の刈り取りが、東保内の川瀬虎之助さんの水田で行われ、先月二十五日に奥さんと上京、宮中に献穀されました。

川瀬さんは現在、水田一町五反に乳牛三十頭を飼育されている複合農家です。酪農は、昭和三十年に一頭から始められたそうです。

— 献米の話があった時は？ —  
私のような者が……と恐縮し、また、受け難く、光栄に思いました。

— コシヒカリを選定した理由？ —  
やはり新潟県の代表品種ですからね。

— 特別気を使われた事は？ —  
まず、苗の選定と育成です。健苗(健康状態の良い苗)を選

「農業は地道な職業なので、自分の生き方に信念を持って、社会の様々な状況に動揺せず、将来の目的を持って邁進してまいります。」

最後にこれからの農業後継者に次のようなコメントをいただきました。

「農業は地道な職業なので、自分の生き方に信念を持って、社会の様々な状況に動揺せず、将来の目的を持って邁進してまいります。」

今後増々の御活躍を期待いたします。

話し合う家庭に育つ明るい子

## 輪の友情を

読者リレー

### われら仲間シリーズ(18)

#### 山林に思う

山口 鉄一さん(五十四歳・両高)



「造林」「育林」と私も亡父より受け継いだ田畑と共に山林を私なりに植栽し、手入れもして来たつもりでありましたが、たまたま去年の秋より農閑期に森林組合の造林作業に時々お手伝いすることとなり、山林について考えさせられるものがありました。

利益、生産性の低い山林であっても先祖が愛して育てて来た森林、木材生産の場と共に大気の浄化、水資源の涵養地として生活にうるおいを与えてくれる森林……

私は、自分なりに育林に努めるとともに、後世代に森林の大切さ、造林、愛林の心を伝えたいと思う今日此頃です。

次は、佐藤鉄也さん(日野浦39歳)を紹介します。

笑顔の家庭に良い子が育つ

# 議会だより

## 9月定例会 (和島村議会事務局)

### 9月定例会終る！

○議案第五十二号 昭和五十九年度和島村一般会計補正予算(第二次)について(原案可決)

今回の補正予算は、事務執行による過不足調整であり、歳入歳出それぞれ三、一〇五千円を増額し、総額一、一七六、三九三千円の規模となっています。

### 村長提出議案

本年第三回の定例会は、去る九月十八日招集され、会期九日間で全議案を議決し、九月二十六日閉会しました。

この定例会には、昭和五十九年度一般会計補正予算はじめ前年度の決算認定など十三件の議案が提出されました。

先ず初日の十六日は、一般会計補正予算などを審議可決したのち、前年度の決算認定については、村長提案理由説明の後代表監査委員より「決算審査意見書」の説明がありました。実質審査では一般会計決算認定は特別委員会に付託の上審査された他、国保・老人特別会計については、所管の常任委員会に付託の上、予算の主旨にそつて効率的に間違いなく執行されたか、四日間にとりわたり村長はじめ各担当課長の説明を求め審査されました。

また本会議二日目の二十五日には、八名の議員により村政に対する当面の問題点等について村長の考え方が質されました。最終日の二十六日には、付託議案についてそれぞれ委員長より報告があり、採決の結果、五十八年度の決算認定については、老人保健特別会計を除いては今後の反省等要望意見を付して認定されました。

議決された議案の内容、議決状況、一般質問の要旨・答弁は次のおりであります。

○議案第五十三号 昭和五十九年度和島村国民健康保険特別会計補正予算(第一次)について(原案可決)

本年十月一日から実施されます退職者医療制度の創設に伴う予算の組替え及び五十八年度決算に基づく繰越金の受入れと基金への積立てなどが主なる内容であり、歳入歳出

○議案第五十四号 和島村国民健康保険条例の一部を改正する条例について(原案可決)

退職者医療制度の発足により、これまで被保険者一律三割の自己負担でありましたが、十月から被用者年金受給権のある退職被保険者については、入院・外来とも二割、その被扶養者については、外来は従来どおり三割負担であります。これにそれぞれ軽減されることに改正されたものであります。

○議案第五十五号 村道路線の認定について(原案可決)

村長が村道として認定されるに当たり議会の議決が求められたものであります。提案された上小島谷十号線、下小島谷十九号線、根小屋七号線、八号線の四路線は何れも可決されました。

○議案第五十六号 和島村固定資産評価審査委員会委員の選任について(同意)

大字辺張北組一二三番地源川猛氏が引き続き十月一日より和島村固定資産評価審査委

員会委員に選任同意されました。

○議案第五十七号 昭和五十八年度和島村歳入歳出決算認定について(一般会計)(認定)

歳入総額一、六四八、一六八千円、歳出総額一、五五七、九七〇千円となっております。尚、議会は認定にあたりいくつかの要望意見を付しておりますが、一部を記せば次のとおりです。

昭和五十八年度決算において、経常収支比率は七四・八パーセント、公債費比率は一・九・九パーセントとなっております。年々上昇の一途をたどっている。

この中において、公債費比率が高いとはいえず、それなりに行政効果をあげていることは十分認められた。

しかし、健全財政運営の面から見ると、これ以上の起債発行については財政危機を生ずる恐れがあるということ、特に国県の指導があったということである。

これに対して村長は、既に手がけている事業は継続実施することとするが、先ず起債の繰上げ償還をする一方、新

議会を傍聴しましょう!!

八、質問要旨 本年度実施された持家住宅緊急対策事業は好評であった。六十年度も継続されたいがどうか。

◎村長答弁要旨 本年二十二名の方が総額五、七六〇万円の融資を受けられた。このうち村は二、二五〇万円、他は金融機関の協力である。住民から喜ばれており続けたい気持はあるが、村財政にゆとりがなく、又景気浮揚緊急対策と一言うことでやったものであり新年度予算編成まで検討したが、今の時点では無理である。

九、質問要旨 本村においては工場誘致も重要であるが、地元業者育成の見地から工場団地的なものを考える必要があると思うが村長の考えはどうか。

◎村長答弁要旨 騒音、粉じん等で苦情などもあり困っている。しかし、経営者にすればわかっている資金面から大変と思う。斡旋と言うことについては企業誘致と同じ考えである。どの程度希望者があるのか意向調査等の中で検討したい。

十、質問要旨 結婚相談員の会議は本年度何回開いたか。また、相談員の利用状況はどうか。他町村との交流についてはどうか。

◎教育長答弁要旨 会議は四月以降二回開かれました。利用状況(相談件数)は、昭和五十八年度六十七件、本年度八月末まで三十八件であります。

◎村長答弁要旨 相談員同士の交流はしていることであるが、若者達の他町村とのふれ合い、主旨同感であり機会をもつようしていきたい。

十一、質問要旨 昭和五十八年度末起債残高は十五億七千万円、公債費比率は一九・九パーセントとなっており、新総合開発計画の昭和五十九年度から六十一年度の実施計画の中で見直しをしなければならなくなつたと言ふことであるが、これら計画の時点でのように考えていられたのか。

◎村長答弁要旨 素直に言つて計画をたてた直後見直しをせざるを得ないものもあるなあと感もあつた。そこで今年度末の状況によっては、昨年同程度程度の借金を返したい。

## 第4回 臨時議会開かれる!

### 情報連絡施設(無線)

### 開局は来年7月頃の予定!!

六十年度以降当分の間は、一部見直しをしなければならぬが、モデル事業関係、生活環境整備、保育所建設は起

十月二十日、本年第四回の臨時議会が開かれ、次の議案が可決されました。

○議案第六十二号 和島村農村情報連絡施設工事請負契約の締結について(可決)

村内に情報連絡施設として無線を設置する事業であり、請負業者と村が契約するに当たり議会の議決に付されたものであります。

この事業は総額八三、二七四千円で、昭和六十年年度までの二カ年にわたり実施されるものであり、親局(役場)、遠隔制御局(島田地区農協、桐島地区農協)、屋外受信基(五局)戸別受信(全家庭一、三三六個)が設置されることになっており、開局は六十年七月頃の予定となっております。

なお、この工事は沖電気工業株式会社信越支社(新潟市)が七六、八〇〇千円で請負うことになりました。

## 栄えある受賞おめでとうございます

昨年七月に任期満了により和島村議会議員を辞された八子八十衛氏、菊地弘氏に新潟県町村議会議長会より功労表彰が贈られました。

また、二十五年間和島村職員として在職され、和島村政発展に御尽力された三名に和島村表彰条例に基づき十月二十日、表彰式が行われました。



**菊地 弘氏**  
(北野)  
議員 5期  
副議長 6年



**八子八十衛氏**  
(阿弥陀瀬)  
議員 5期  
議長 4年8ヵ月

**新潟県町村議会 議長会表彰**

**村政功労者表彰**

- 菊地 寿雄(北野)
- 小林 泰男(島崎)
- 八子 賢一(阿弥陀瀬)

議会を傍聴しましょう!!

総合開発計画における実施計画の見直しを行い、事業を繰り下げるなど財政調整を図り、昭和六十二年度までに公債費比率を一五パーセント台に引き下げたい旨決意を述べられた。

これは当面本村における最も重要課題のひとつと考えられるので、これが実施にあたり、綿密な計画樹立のもとに健全財政が一日も早く確立されることを強く要望する。

○議案第五十八号 昭和五十八年度和島村歳入歳出決算認定について(国民健康保険特別会計)(認定)

歳入総額二三八、八一七千円、歳出総額二二三、四一七千円となっております。

○議案第五十九号 昭和五十八年度和島村歳入歳出決算認定について(老人保健特別会計)(認定)

歳入総額三〇八、一四四千円、歳出総額二〇八、三二一十千円となっております。

○議案第六十号 昭和五十九年度和島村一般会計補正予算(第三次)について(原案可決)

農村地域定住促進対策事業

の中で計画されており、行政無線の導入については、五十九年度及び六十年の二カ年間に継続して実施するため、法の定めにより継続費として設定されるものであります。

○議案第六十一号 和島村教育委員会委員の任命について(同意)

和島村教育委員会委員の木村元周氏は、本年九月三十日

### 請願

○請願第四号 郵便貯金やマル優など非課税貯蓄制度の改善に反対し、小額貯蓄の現行利率を維持する

子非課税制度の継続を求める請願(採択)

### 意見書

○意見第五号 国庫補助負担率引き下げによる地方負担増大に反対し、小額貯蓄の現行利率を維持する

○意見第六号 郵便貯金、マル優など少額貯蓄の利子に課税することに反対する意見書(原案可決)

### 一般質問

一、質問要旨 工場誘致について

①最近村内に工場用地の幹線依頼があるか②下富岡地内の工場誘致はどんな状況か③工場誘致に協力した地権者に対しその所得に係る税の減免とか、それができなければ補助する考えはないか。

○村長答弁要旨

①現在一件、一、〇〇〇坪程度の申出があり、助役、担当課で幹線中であるが、最終段階に至っていない状況である。②下富岡地内の工場移転進出については、約五町歩程の面積が必要ということであり、

二、質問要旨 道路整備について

①三瀬ヶ谷部落の村道整備について村長はどのように考えておられるか。②農免道路及び団体営農道整備は計画どおり進んでいるか。③従来は圃場整備と併せて道

地権者の協力を得て或る時期には調印の段階までいったが、移転してくる工場の内容に加えて一部地元の反対があり、工場見学等をしていただき理解を求めることに努力中である。

一方工場側においては、精密機械、鋳造、セラミックス等の生産予定内容であり、今日の厳しい経済状況の中で停滞ぎみであるが、村としては一日も早く立地されることを望み、また要請中である。

③地域の工場導入の指定を受けた用地、農地法に基づくという転用についても売買幹線等の中で特例もあり、今は諸般の情勢から他にも例はないようであり、補助する考えはない。

ただ工場誘致条例に基づく便宜、供与は努力したい。

路改良をする意向で定住事業、新農構事業の中で促進を図ったが、部落の大半の同意が得られず時間切れとなった。

今は道路改良だけの話し合いも進んでいるが、将来を考えるとやはり四メートルから四メートル五十センチ程度に改良し舗装することが望ましい。

そういう考えで一日も早く部落全体の合意が得られるよう推進していきたい。

②当初これらの路線は農免道路一本で考えていたが、一六号線が中にはさまるということに打切られた関係上、後の部分は団体営で進めたいというものである。

農免道路については、関係者の同意が七五パーセント以上であれば事業採択の基準であるが、一〇〇パーセントが理想である。寺泊地内同意率一〇〇パーセント、北野一〇〇パーセント、上桐九〇パーセント以上であり、全体で九二パーセントである。

この中で県へ申請している段階である。団体営については、北野、荒巻、小島谷の一部の中で話を進めているが、まだ地権者

の同意を一〇〇パーセント得ていないが努力している。

三、質問要旨 年々身体障害者及び寝たきり老人が増加しているが、福祉施設が少なく希望しても直ぐ入れないで順番を待っていると聞いているが、これらの人の為に施設の建設の考えはないか。

隣の町では、このことについて単独か組合立にするか施設建設の検討中とのことである。

○村長答弁要旨 現状は全くそのとおりで、絶対数は足りない状況である。

国では、これら寝たきり老人の特別養護老人ホームについては積極的に導入を図っておられるが、膨大な資金を必要とし、国県の補助、更に関係町村の拠出金を似ってこれを賅っている状態であり、村単独では不可能である。

隣の町については知らないが、推移を見守りたい。

とにかく現在施設が不足していることの解消ということには意向は変わりないので、

今後いろいろな機会に努力していきたい。

四、質問要旨 中学校の部活動は人間形成に重要な意義をもっている。幸い北辰中学校では力を入れておられ、本年度は対外試合でも立派な成績をおさめられた。

今後とも教員異動に際しては、優秀な指導者の配置が必要と思ふ。

○教育長答弁要旨 部活動の重要性については全く同感であります。教育異動は定数・教科の関係で難しい問題もありませんが、できるだけ善処したいと思ひます。

五、質問要旨 村長の過去五カ年の村政執行について

①毎年予算審議会においてその年の重点施策を発表されませんが、(公債費比率の問題、歳入の確保、定数と給与、事務事業の見直し、補助事業の選択等)実行に移して執行されてあったでしょうか。

②計画された事業が「住民総参加の村づくり」になったかどうか。

③成功しなかった事業にどんな失点があったか、其の反省について

④農村総合整備モデル事業の今後の進め方について

○村長答弁要旨 ①五十四年に就任以来五カ年経ったが、その間、住民総参加ふれ合いを求めながら村政執行にあたり現在も気持は変りない。住民の声を拝聴し、健全財政を堅持しながらやっていくことに変りない。

この中で村財政は七割から八割が国県に依存しており、それを見込みながら村の計画をたてるのは行政を預かる立場として当然であります。過去去行革関連での歳出削減、事務事業の見直し等の質問の件承知している。当時行革に係る意見の中では村長自からの発想でできるのではないかと

言うことでもあった。五年間での主要眼目については、生活関連道路の整備を第一にあげ臨時市町村道路整備債を導入し、これを進めた。これが約八億円要した。借金に残ったが、それなりに快適な生活の踏み石を敷かして

いただいたと思つている。今後財政再建と言うか硬化化を是正していく方向にすすめたい。その中で職員定数が増加

しないように、機械力等の導入も図り、六十年の予算編成にあたりたい。

②自分なりに十分意を配してやらしてもらったつもりである。評価はそれぞれの立場で違ふと思う。

③成功しなかった事業、例えば都市ガス、宅造については期待した程の希望がなくそれについては需要供給の関係を重視する理由があった。アンケート調査等の結果もみながらそれに基づき基本計画を作り話をすすめた。謙虚に反省しながら今後に対応していきたい。

近い将来必ずこの基本計画によって実施出来るものと確信している。

④モデル事業については各町村からの申込みが増えている状況の中で国においては厳しい財政事情から総事業費は当初の十五億円から十三億八千万円位に減る見込みである。集落排水処理を主体に積極的にすすめたい。

六、質問要旨 新総合開発計画の推進及び一六号和島バイパスの法線発表などにより道路整備が進む中で不動産業者

も注目しており、また誘致業種によっては村内業者との対立も考えられる。農地転用等について村長はどのように農業委員会の意見を反映されるか。

○村長答弁要旨 農業委員会は農地問題の基幹であり、その意味では村全体の開発計画をすすめるにあたり互いに連携をとりながら推進することは当然である。時により適切な助言もお願いしたい。誘致業種が村内業者との摩擦については村全体の立場で対応し、一般的には地域の雇用関係を増し村づくりにつながることを大切である。

七、質問要旨 塩之入峠の七曲り旧道を作業道又は遊歩道として史跡を後世に伝えるため復元してはどうか。

○村長答弁要旨 隣接五カ町村の広域林道計画策定時に土木事務所とも協議したが随道の上は地盤がうすく許可されなかつた。又附近は地すべり防止の保安林となっている。現存している状態で多少手を加えて遊歩道とか、史跡の保存をすることは意義あるが作業道は不可能である。

# お知らせ広場

## 雇用保険の加入はお済みですか？

～11月は「雇用保険適用促進月間」です～

◎雇用保険は、事業主には労働者が安心して働ける職場をつくるために各種助成金を支給し、労働者には失業した場合に必要な給付を行うことにより、生活の安定を図り仕事を探すことを容易にする等就職の手助けをする制度です。

◎労働者を1人以上雇用する事業主は、必ず加入しなければなりません。未だ加入していない事業主は、加入の義務がありますので至急手続きをしてください。

◎加入手続きは、公共職業安定所又は労働基準監督署にさせていただきますが、中小企業の事業主に代って労働保険（雇用保険・労災保険）に関する全ての事務を行う「労働保険事務組合」に事務を委託すると便利です。

※詳細は、長岡公共職業安定所雇用保険課（TEL 32-1181 内線24）へ。

## 新潟県最低賃金

新潟県内で働くすべての労働者に適用する新潟県最低賃金が、次のとおり改正されました。

# 1日3,249円

（ただし時間給の労働者は1時間 407円）

効力発生日 昭和59年10月5日

新潟労働基準局・労働基準監督署

## 停電のお知らせ

東北電力(株)燕営業所

◇日時

11月21日(水) 午前9時～午後12時

◇地域

中沢・梅田の一部（辺張線7号～40号）

## おかあさん わすれちゃダメだよ！

—保健衛生行事— (11月)



月	日	曜	種	目	対	象	時	間	場	所
11	13	火	インフルエンザ	子防接種	申込された	保育園児・幼稚園児	午後1時30分～2時		福祉センター	
	14	水	乳	児	相	談	(離乳食指導会)3ヵ月～12ヵ月児	午後1時30分～3時		"
	21	水	麻しん(はしか)	子防接種	個人通知のあった	幼児	午後1時30分～2時			"
	29	木	リ	ハ	ビ	リ	訓練	希望者	午後1時30分～4時	"
	30	金	サ	ホ	ラ	イ	ド	塗布	希望者	受付時間 午後1時30分～45分

年金で老後をゆたかに！

### 国民年金

## 住所・支払金融機関の変更はお早めに手続きを！！

年金を受けている人が、住所を変えたときや、年金を受け取る銀行、郵便局などを変更したときは、早めに届けを出してください。もし届け出を忘れていたり、遅れたりしま

すと、年金の支払通知書などが、新しい住所に送付されないために、支払いが受けられなかったり、遅くなるなどの支障が生じます。「住所支払金融機関変更届」の用紙は役場の窓口又は国民年金係にありますので該当する方は提出の手続きをしましょう。

十一月中旬に

◎60歳になる人  
大正13・11・2～大正13・12・1生まれ

◎65歳になる人  
大正8・11・2～大正8・12・1生まれ

老齢年金を請求しましょう。

## 11月の心配ごと相談

日時……5日、15日、26日  
午前9時から午後3時まで

場所……福祉センター相談室

内容……生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金・身障相談・職業相談・その他なんでも

# 青少年健全育成強調月間

11月は、青少年健全育成強調月間です。青少年が地域における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を養い、心身ともに成長することは村民全体の願いです。青少年の健全育成は、地域社会が青少年に愛情を持って接していかなければなりません。青少年がいる家庭、いない家庭を問わず村民みんなが青少年の健全

育成に関心を持ち、重要性を認識し、21世紀を担う青少年が明るく思いやりの心を持った人間になるようにやっていかなければなりません。地域の活性化にも若者が果たす役割が大きいです。強調月間の事業として、青少年育成村民会議、教育委員会、公民館では下記のことを計画しています。

## 2、部落懇談会の開催

日	時	会	場	対象部落	内	容
11月12日(月)	午後7時30分～9時30分	下小島谷	公会堂	下小島谷	映写、講話懇談会	
11月19日(月)	午後7時30分～9時30分	城之丘	会館	城之丘	"	
11月26日(月)	午後7時30分～9時30分	道城下	集落開発センター	道城下	"	

一、広報・啓発活動

(一)「青少年健全育成について」のチラシ、リーフレットの全戸配布

(二)和島村青少年育成村民会議加入促進月間

青少年育成村民会議が結成されて今年で四年目になります。この会議は、村内各

## 3、青年活動推進研修会の開催

日	時	研	修	課	題	対	象	者	会	場
11月13日(火)	午後7時30分～9時30分	青年団体活動の	意義と役割	18歳以上の	青年男女	総合福祉センター				
11月16日(金)	午後7時30分～9時30分	グループ、サー	クルの	作り方	"	"				
11月20日(火)	午後7時30分～9時30分	青年団体活動の	企画、展開	評価	"	"				

世帯から一人以上会員になっていただいて、村民総ぐるみで青少年の健全育成のための事業をする団体です。現在の会員は、四百名になっています。未加入の方は、是非加入下さるようお願いいたします。事務局は、教育委員会にあります。

## 5、映写会の開催

日	時	会	場	映	画	題	名	対	象
11月7日(水)	午後7時30分～9時30分	総合福祉センター		○お父さんの宝島 ○春風の子どもたち	子どもから大人				
11月14日(水)	午後7時30分～9時30分	"		○涙なんか飛んでいけ ○長ぐつ父さん	"				
11月21日(水)	午後7時30分～9時30分	"		○あの空のはてに響け ○故郷は心の中に	"				

二、部落懇談会の開催 (別表)

三、青年活動推進研修会 (別表)

四、明るい家庭づくりの推進  
村内小・中学生から明るい家庭づくりに関する作文を、書いていただけて明るい家庭づくり運動の普及促進に努める。

五、映写会の開催  
大人も、子どもも一緒にみてみる楽しいうちにも感動を呼ぶ映画です。どうぞ、親子ご家族でおいで下さい。(日程別表)

むだのない暮しで むりのない貯蓄